

宮崎地区



越前地区



織田地区



新成人として

A coming-of-age ceremony

心新たに

一月十一日、越前陶芸村文化交流会館で、平成二十一年成人式が開かれました。
式典では、関町長から式辞、井上信雄町会議会議長、藤野利和県議会議員からそれぞれ祝辞を受けた後、水嶋康博さんと山本宣史さんが新成人を代表して、「社会の一員として認めてもらえるよう、自分の行動に責任を持ち、自らの信じた目標や夢に向かって努力していきたい。」と誓いの言葉を述べました。
参加した新成人は、成人になることへの不安と緊張とともに、自身の未来への夢に胸を膨らませていました。
午後からは、各地区の実行委員会主催による「成人のつどい」が開かれ、新成人たちは久しぶりに会う旧友や恩師と親交を深め、思い出話に花を咲かせていました。



朝日地区



蟹と水仙の文学コンクール 入賞者 大賞作品

俳句部門（小学生の部）			応募総数 703句
大賞	朝日小学校 「水仙が海にむかつて歌ってる」	六年 宮下 拓翔	
奨励賞	惜陰小学校 惜陰小学校	五年 佐々木 郁哉 三年 佐々木 里萌	
佳作	朝日小学校 朝日小学校 四ヶ浦小学校 朝日小学校 朝日小学校	六年 松本 侃太 六年 山野 ひかり 三年 青木 一希 六年 河瀬 知樹 六年 河瀬 裕伍	
俳句部門（中学生の部）			応募総数 1439句
大賞	織田中学校 「呼鳥門行くたび水仙思い出す」	一年 相馬 香澄	
奨励賞	越前中学校 武生第二中学校	一年 今井 萌々子 三年 織田 裕翔	
佳作	越前中学校 宮崎中学校 越前中学校 織田中学校 朝日中学校	二年 宮崎 琢也 三年 古川 祐輝 一年 津田 香鈴 一年 伊藤 早希 一年 高島 悠馬	
俳句部門（高校生の部）			応募総数 802句
大賞	丹生高等学校 「水仙のやや下向きを愛しけり」	二年 澤 沙織	
奨励賞	長崎工業高等学校 丹生高等学校	三年 新田 めぐみ 三年 山形 理恵	
佳作	仁愛女子高等学校 長崎工業高等学校 長崎工業高等学校	三年 守川 実花 三年 宮崎 美紀 三年 松永 京佑	

俳句部門（一般の部）			応募総数 1666句
大賞	丹生高等学校 仁愛女子高等学校	一年 西尾 大 三年 波々伯部 早紀	
奨励賞	兵庫県 宮崎県 鯖江市	松下 弘美 掛園 明江 奥村 真由美	
佳作	鯖江市 福井市 福井市 東京都 あわら市	清水 邦子 中源 信子 石井 寛行 長谷川 英信 高橋 英信	
詩部門（小学生の部）			応募総数 113編
大賞	木田小学校 「まほうの水仙」	四年 近藤 眞未	
奨励賞	おばあちゃんが病気になった 明らなかったおばあちゃんに 元気がなくなった ある日家族みんなで おばあちゃんをさそって 越前海岸の水仙畑を みに行った	おばあちゃんが病気になった 明らなかったおばあちゃんに 元気がなくなった ある日家族みんなで おばあちゃんをさそって 越前海岸の水仙畑を みに行った	
佳作	「ようこそみなさん、よくきたね」 たくさん小さな花が さわやかな香りといっしょに 私達に話しかけてくれているよう：： つめたい風にふかれても 負けたりしないで こんなにきれいに さいてるんだね	「ようこそみなさん、よくきたね」 たくさん小さな花が さわやかな香りといっしょに 私達に話しかけてくれているよう：： つめたい風にふかれても 負けたりしないで こんなにきれいに さいてるんだね	

はじめはしずかだったおばあちゃん でもすいせんを見て 「きれいやのう」と 私に笑顔で言ってくれた その笑顔が私は好きだ	水仙畑に行ってから 病気が少しよくなったみたい まほうの花なのかな ありがとう 水仙さん 来年もまた みんなで きつと きつと 来れますように また まほうをかけてね	はじめはしずかだったおばあちゃん でもすいせんを見て 「きれいやのう」と 私に笑顔で言ってくれた その笑顔が私は好きだ
---	--	---

詩部門（中学生の部）			応募総数 283編
大賞	秋田県 飯島小学校 「スイセン」	一年 梅津 奏子	
奨励賞	とんがり帽子 伸び上がって 小さく ぼつ 咲いたら 太陽が眩しくて そつとうつむきました 風がふけば 一緒に遊びます 首を振って 笑ってます	とんがり帽子 伸び上がって 小さく ぼつ 咲いたら 太陽が眩しくて そつとうつむきました 風がふけば 一緒に遊びます 首を振って 笑ってます	
佳作	震えてるではありません いやいやって嫌がつてるのでもありません 花開いたのが 嬉しくて 笑ってるんです	震えてるではありません いやいやって嫌がつてるのでもありません 花開いたのが 嬉しくて 笑ってるんです	
奨励賞	越前中学校 「冬のぬくもり」 越前中学校 「かに」	一年 笠原 優子 三年 城 和昌	
佳作	越前中学校 「貴方の姿と証」 織田中学校 「なんのためにがんばるのか」 織田中学校 「水仙を見つけて」 織田中学校 「決意」	三年 藤本 英里 二年 酒井 大貴 二年 田中 俊行 二年 駒野 千洋	



織田中学校 「みんなで食べるカニ」	二年 上坂 侑実	
詩部門（高校生の部）		応募総数 60編
大賞	東京都 藤村女子高等学校 「 $E=mc^2$ 」 二年 本田 しおん	
今年も いつものところに いつものように 水仙が 咲いた	今年も いつものところに いつものように 水仙が 咲いた	
だから まるで 今年咲いた水仙は 有機化合物を学ぶ高校生の私には 化学の花に 見えるだろう 野に咲く白い正六角形 それは C_6H_6 のベンゼン環 炭素原子が 互いに結合し ケクレ構造の輪をつくる ベンゼン環をもつ有機化合物は 芳香族といって 香しい匂いを発する 不思議だね、水仙も 六枚の花びらが 互いに繋がると 正六角形の水仙の花となり 香しい匂いが 辺り一面に漂う そして、高校生の私は 水仙の香りが 正六角形だと理解する その上 まるで 今年群生した水仙は ニュートン力学を学ぶ高校生の私には	だから まるで 今年咲いた水仙は 有機化合物を学ぶ高校生の私には 化学の花に 見えるだろう 野に咲く白い正六角形 それは C_6H_6 のベンゼン環 炭素原子が 互いに結合し ケクレ構造の輪をつくる ベンゼン環をもつ有機化合物は 芳香族といって 香しい匂いを発する 不思議だね、水仙も 六枚の花びらが 互いに繋がると 正六角形の水仙の花となり 香しい匂いが 辺り一面に漂う そして、高校生の私は 水仙の香りが 正六角形だと理解する その上 まるで 今年群生した水仙は ニュートン力学を学ぶ高校生の私には	

詩部門（一般の部）			応募総数 194編
大賞	物理の花に 見えるだろう 群生する白い正六角形 それは 蜂の巣模様の地上絵 花の一辺と一辺が 互いに連結し 理想の六角形構造をつくる 蜂の巣のような正六角形集合体は ハニカム構造といつて 自然界で 最も頑丈なカタチになる 不可解だね 群生する水仙も 正六角形が たくさん繋がると ハニカム構造ができ 凍てつく風にも 耐えられる そして 高校生の私は 水仙が 冬の植物だと理解する	物理の花に 見えるだろう 群生する白い正六角形 それは 蜂の巣模様の地上絵 花の一辺と一辺が 互いに連結し 理想の六角形構造をつくる 蜂の巣のような正六角形集合体は ハニカム構造といつて 自然界で 最も頑丈なカタチになる 不可解だね 群生する水仙も 正六角形が たくさん繋がると ハニカム構造ができ 凍てつく風にも 耐えられる そして 高校生の私は 水仙が 冬の植物だと理解する	
奨励賞	冬が凍てつけば 凍てつくほど 化学の花・物理の花が 白い正六角形の水仙だと分かるだろう そして その白い正六角形の存在 高校生の私にも アインシュタインの E=mc ² の意味が なんとなく 理解できる気分になれる	冬が凍てつけば 凍てつくほど 化学の花・物理の花が 白い正六角形の水仙だと分かるだろう そして その白い正六角形の存在 高校生の私にも アインシュタインの E=mc ² の意味が なんとなく 理解できる気分になれる	
佳作	北陸高等学校 「生きている」 東京都白鷺高等学校 「花の贈り物」 仁愛女子高等学校 「水仙を見守る」 仁愛女子高等学校 「待ち人」	北陸高等学校 「生きている」 東京都白鷺高等学校 「花の贈り物」 仁愛女子高等学校 「水仙を見守る」 仁愛女子高等学校 「待ち人」	

詩部門（一般の部）			応募総数 194編
大賞	金津高等学校 「旅立ち」	三年 鷲田 早紀	
奨励賞	水仙の花を抱え ベットのそばへ行くと あゝ ありがとう まだまだ張りのある声 花に顔を寄せて いい匂い 気持ちが悪くなるねえ 顔には九十八年間 生きてきた年輪がきざまれている それでも 鏡が見えないので手鏡がほしい 昨年まで美容師だった 身に付いたおしゃれ 細い指でのシャンブーの快さ しなやかな髪はさみ裁き 花嫁着付けは評判だった 近年は手伝いに回ったが 店には日々花も絶やさず 鏡の横の一輪さしには 季節の花が控え目に咲いていた 歩けないので鏡が見られない 化粧が出来ないと 家族に伝えてくれと言う ベットに横たわる 華奢な鉢 だが その細い背筋には 凛とした女がいた 強い心と世話焼きな心 いつもアンテナを張り 自分の考えをはっきりと言った 私にも子ども達にも 気を配ってくれた	水仙の花を抱え ベットのそばへ行くと あゝ ありがとう まだまだ張りのある声 花に顔を寄せて いい匂い 気持ちが悪くなるねえ 顔には九十八年間 生きてきた年輪がきざまれている それでも 鏡が見えないので手鏡がほしい 昨年まで美容師だった 身に付いたおしゃれ 細い指でのシャンブーの快さ しなやかな髪はさみ裁き 花嫁着付けは評判だった 近年は手伝いに回ったが 店には日々花も絶やさず 鏡の横の一輪さしには 季節の花が控え目に咲いていた 歩けないので鏡が見られない 化粧が出来ないと 家族に伝えてくれと言う ベットに横たわる 華奢な鉢 だが その細い背筋には 凛とした女がいた 強い心と世話焼きな心 いつもアンテナを張り 自分の考えをはっきりと言った 私にも子ども達にも 気を配ってくれた	

詩部門（中学生の部）			応募総数 283編
大賞	秋田県 飯島小学校 「スイセン」	一年 梅津 奏子	
奨励賞	とんがり帽子 伸び上がって 小さく ぼつ 咲いたら 太陽が眩しくて そつとうつむきました 風がふけば 一緒に遊びます 首を振って 笑ってます	とんがり帽子 伸び上がって 小さく ぼつ 咲いたら 太陽が眩しくて そつとうつむきました 風がふけば 一緒に遊びます 首を振って 笑ってます	
佳作	震えてるではありません いやいやって嫌がつてるのでもありません 花開いたのが 嬉しくて 笑ってるんです	震えてるではありません いやいやって嫌がつてるのでもありません 花開いたのが 嬉しくて 笑ってるんです	
奨励賞	越前中学校 「冬のぬくもり」 越前中学校 「かに」	一年 笠原 優子 三年 城 和昌	
佳作	越前中学校 「貴方の姿と証」 織田中学校 「なんのためにがんばるのか」 織田中学校 「水仙を見つけて」 織田中学校 「決意」	三年 藤本 英里 二年 酒井 大貴 二年 田中 俊行 二年 駒野 千洋	